日本政策金融公庫（農林水産事業）
パートナーネット 初期設定ガイド

作　成　者	日本政策金融公庫 企画管理本部 システムオペレーションオフィス 運用サービスグループ
作　成　日	2016 年 2 月 19 日
最終更新日	2026 年 11 月 2 日
照　会　先	日本政策金融公庫　サービスデスク （℡ ： 03-4523-8620）

日本政策金融公庫(農林水産事業）パートナーネット 初期設定ガイド

証明書のインストール手順、ブラウザ（Microsoft Edge）の設定、パートナーネットへの接続確認について説明します。なお、パソコンの設定変更が必要な場合があります。必要に応じて、金融機関内のシステム部門等と連携しながら、パートナーネットの初期設定を実施してください。

目次

1　パートナーネットに使用するパソコン等の要件 2
2　用語の定義 3
3　電子証明書のインストール 4
4　電子証明書の確認 9
5　ブラウザの設定 20
6　パートナーネットへの接続確認 24
7　ログアウト及びブラウザの終了 27
8　（参考）旧ソフトウェアの削除 28
9　添付資料 32

1　パートナーネットに使用するパソコン等の要件

パートナーネットをご利用いただけるパソコン環境は次のとおりです。

(1)　パソコン



・動作周波数が 1GHz 以上の Intel 互換 CPU　（2 コア 2GHz 以上を推奨）
・1GB 以上のシステムメモリ　（2GB 以上を推奨）
・500MB 以上の空き容量がある、総容量 40GB 以上のハードディスク
（空き容量 1GB 以上、総容量 80GB 以上を推奨）
・各種文書印刷用プリンタ

(2)　ソフトウェア

推奨環境は以下のとおりです。（令和 7 年 10 月 14 日以降）

・OS　（Windows11）
・ブラウザ　（Microsoft Edge）
・PDF 形式ファイルの閲覧ソフト（Adobe Reader XI 以上を推奨）
・Microsoft Office 2013 以降

(3)　インターネット通信回線

・インターネット通信回線 **必須** （ダイヤルアップ回線など低速回線であっても接続は可能ですが、かなり動作が遅くなります。光ファイバーや ADSL 等、高速ブロードバンド回線を推奨します。）

2　用語の定義

(1) ユーザＩＤ

パートナーネットの利用者を特定するための文字列です。受託金融機関ごとに公庫が発行します。

(2) 担当者 ID

受託金融機関の管理者が発行したパートナーネット利用者 ID です。

(3) パスワード

パートナーネットが利用者の接続を許可するための文字列です。パスワードは受託者が設定し、随時変更できます。

但し、利用開始時に使用する最初のパスワード（以下「初期パスワード」という。）は公庫が設定します。

・ユーザID及び初期パスワードは、公庫からの利用承認時に郵送する、初期設定用ログイン情報に記載されています。
**　パソコンの変更等を行う場合に必要な情報になりますので、初期設定ログイン情報は大切に保管してください。**
・初期設定用ログイン情報の再発行が必要なときは、所定の再発行依頼書を公庫あて提出してください。

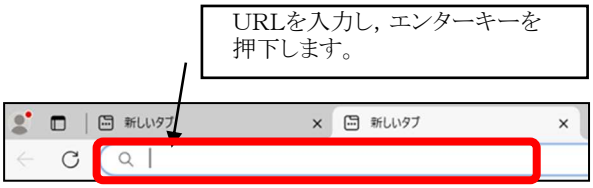
(4) 電子証明書

受託者の本人性及び権限の正当性を確認又は証明するための電磁的データです。パートナーネットではセキュリティ対策として公開鍵基盤（ＰＫＩ）の技術を使用して通信の暗号化を行っており、電子証明書には暗号化鍵も含まれています。

なお、パートナーネットでは電子証明書の有効期間は 10 年間としています。

3　電子証明書のインストール

①接続先ＵＲＬ(＊)をブラウザのアドレス欄に入力し、
Enter キーを押下します。



(＊)…「ユーザＩＤ」及び初期パスワードを郵送した際に通知したＵＲＬのうち、電子証明書のインストール用のもの。

・2025 年 7 月以前に通知された接続先 URL の場合、末尾「certsrv/」を除いた URL で接続してください。
・電子証明書のインストールでは、Microsoft Edge で電子証明書を取得することが出来ない場合があります。取得できない場合は、Microsoft Edge の Chromium 版の IE モードにすることで取得することができます。
Microsoft Edge の Chromium 版の IE モード設定は、p40「9-4 Microsoft Edge の Chromium 版の IE モード設定」を参考にしてください。

②ホーム画面が表示されたことを確認し、右上のログインをクリックして下さい。



③ログインの際には、ユーザ名及びパスワードの入力が求められます。
事前に郵送された「ユーザＩＤ」及び初期パスワードを入力して、OK ボタンをクリックしてください。

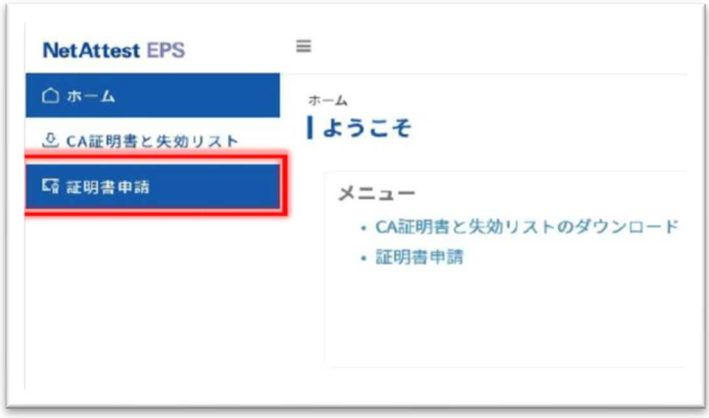


「ログイン ID」は、公庫から受託金融機関へ利用承認時に郵送した初期設定用ログイン情報の ID です。
受託金融機関の管理者が担当者に発行した「担当者 ID」ではありません。
「担当者 ID」を使用するために電子証明書のインストールが必要な場合は、受託金融機関の管理者に必要な「ログイン ID」をお問合せ下さい。

④ログインが成功すると、右上にアカウント名が表示されます。



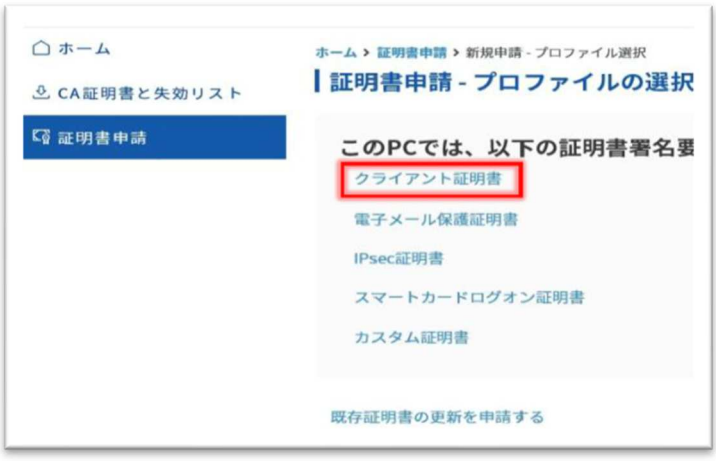
⑤左にある「証明書申請」のメニューを
クリックします。



⑥【証明書申請】が表示されますので、
『新規申請』のボタンをクリックします。



⑦【証明書申請-プロファイルの選択】が表示
されますので、『クライアント証明書』の
リンクをクリックします。



⑧アドオン実行の確認メッセージが表示された場合、『許可ボタン』をクリックします。



【アドオンをインストールしようとしています。のメッセージが表示される場合】

「すべてのユーザーに対してインストール」をクリックして先に進んでください。

「インストール確認のメッセージ」が表示された場合、「インストールする」ボタンをクリックして下さい

【以下のメッセージが表示される場合】

・本ガイド「トラブルシューティング」の『 A. NaRAClientControlがインストールされていません。』を参照してください。



・本ガイド「トラブルシューティング」の『B. NaRAClientControlのインストールウィンドウが表示されない』を参照してください。

・本ガイド「トラブルシューティング」の『 C. このWebサイトのアドオンは実行できませんでした。』を参照してください。



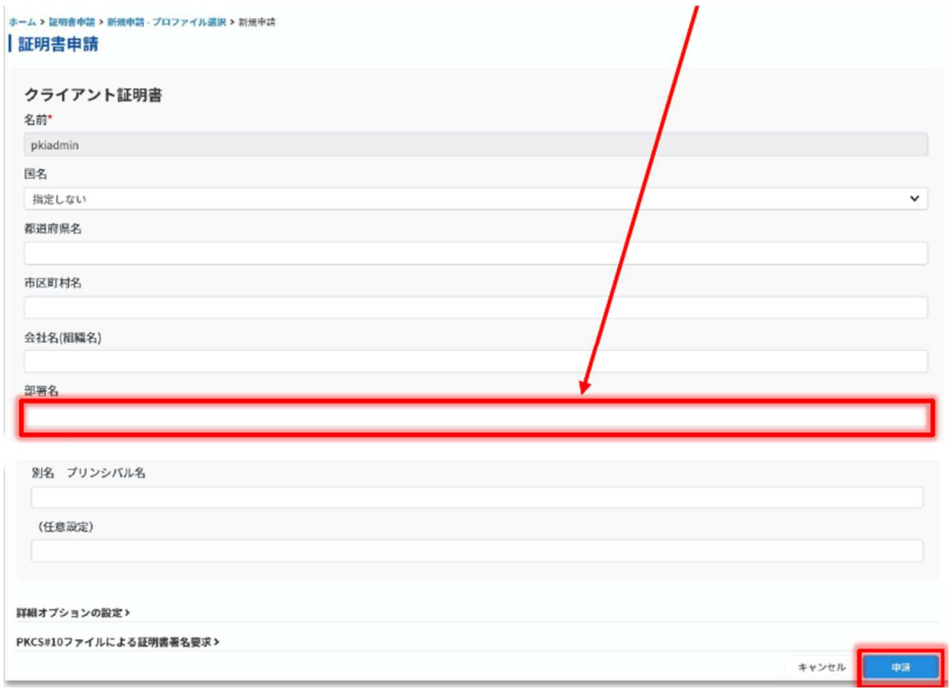
⑨【証明書申請】画面（下図）が表示されます。

農林パートナーネットシステムを利用する場合は、部署名に「nourin」と入力し、

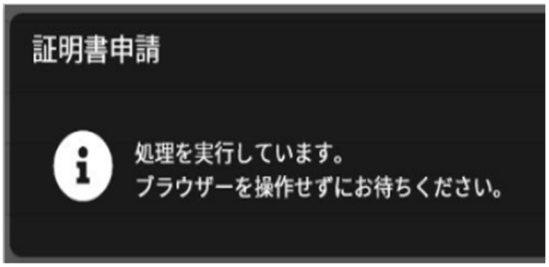
OK ボタンをクリックしてください。（部署名には「nourin」以外を入力することはできません。）

（半角小文字）

農林パートナーネットシステムを利用する場合　：　**nourin**



⑩ 申請処理が実行されます。



⑪証明書インストール画面が表示されます。



⑫証明書のインストール中に【セキュリティ警告】が表示される場合があります。『はい』ボタンをクリックして、インストールを継続してください。



⑬証明書のインストールが終わりましたら、OK ボタンをクリックします。



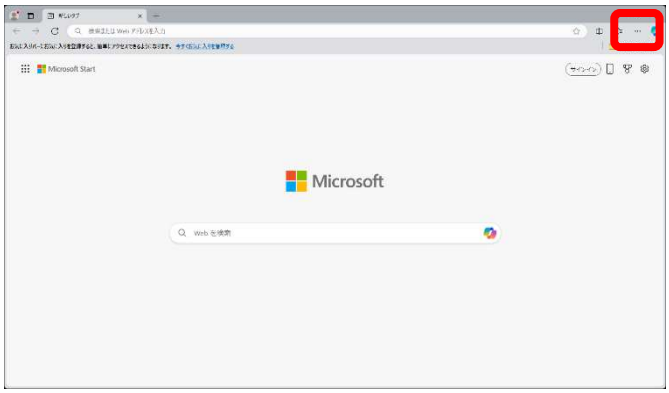
⑭証明書の状態が「発行」となっていることを確認します。



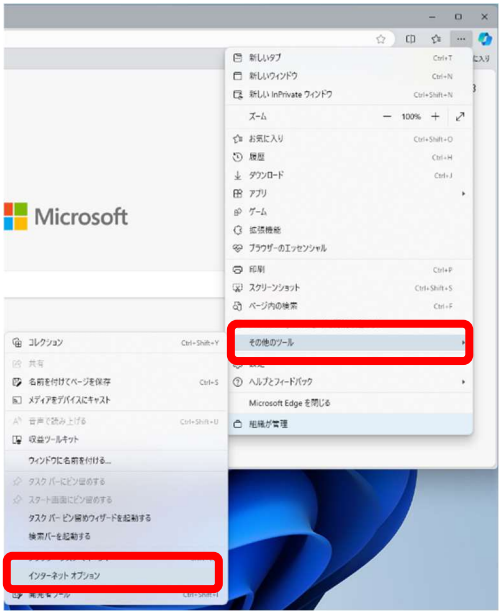
4　電子証明書の確認

証明書が正しくインストールされたことを確認します。

① Microsoft Edge を起動し、「…」をクリックします。



②「その他のツール」から「インターネットオプション」をクリックします。



③「コンテンツ」タブを選択し、「証明書ボタン」をクリックします。



④「個人」タブの中にインストールした証明書があることを確認し、閉じるボタンをクリックします。

発行先
：**ユーザ名（事前に郵送された「ユーザＩＤ」）**
発行者
： **JFCCA**



⑤デジタル認証局の画面右上の「人マーク」をクリックし、「ログアウト」ボタンをクリックします。



⑥ログアウト画面が表示されます。「ログアウト」ボタンをクリックします。



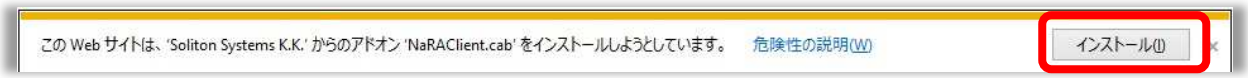
以上で電子証明書のインストールが終了しました。続いて、ブラウザの初期設定を行ってください。
P20「5. ブラウザの設定」へお進みください。

トラブルシューティング（１）

A． NaRAClientControl がインストールされていません。

〔対処法〕　NaRAClientControl のインストールを実施します。

インストールガイダンスメッセージが表示された場合、「インストール」ボタンをクリックし、
NaRAClientControl のインストールを実施します。



（インストールウィンドウが表示されない場合は、『B． NaRAClientControl のインストールウィンドウが表示されない』を参照してください。）

インストールが終わりましたら Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「２　電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

B. NaRAClientControl のインストールウィンドウが表示されない

〔対処法〕　ポップアップブロックが機能しないよう、設定を変更します。

① 本ガイド p 36「9-3 ポップアップブロックを回避する方法」を参照し、設定を変更してください。

②Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「２　電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

C.　この Web サイトのアドオンは実行できませんでした。

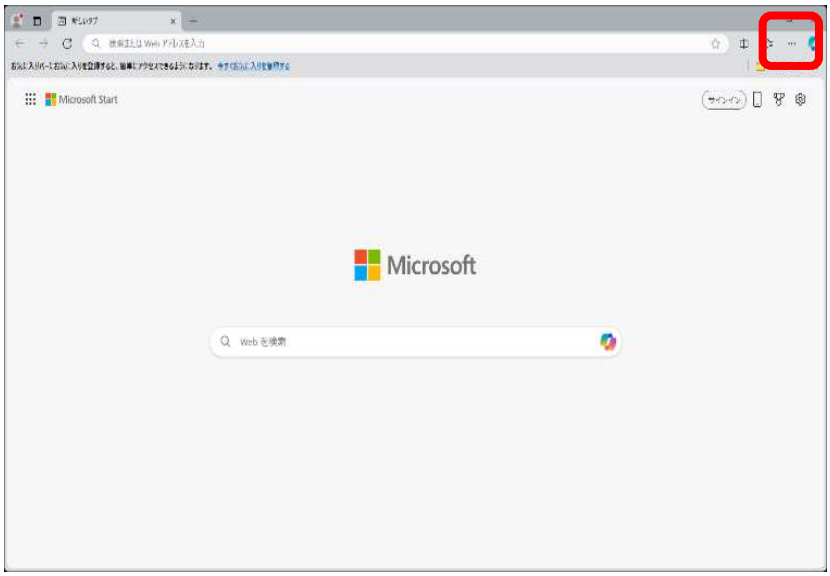
〔対処法〕　ブラウザのセキュリティ設定を変更します。

【以下のメッセージが表示される場合】

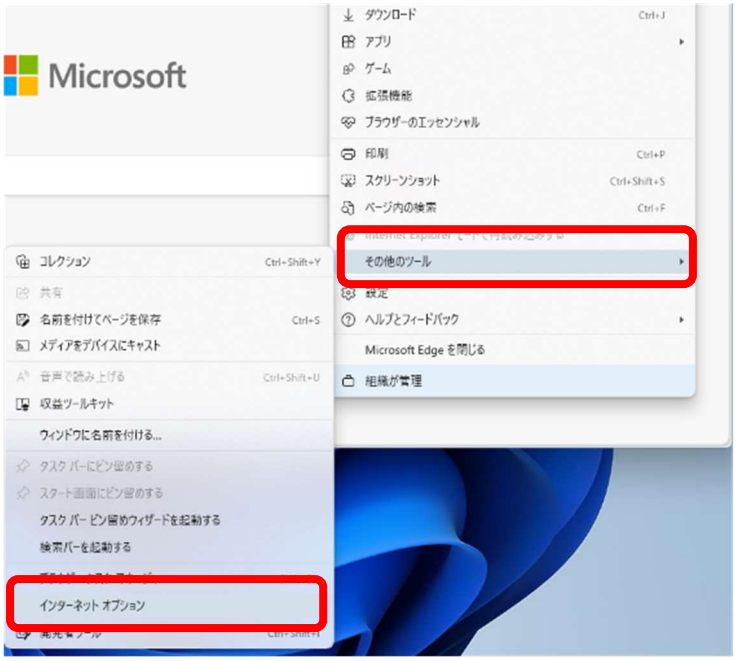
次の『 B. このWebサイトのアドオンは実行できませんでした。』を参照してください。



①Microsoft Edge を起動し、「…」をクリックします。



②「その他のツール」から「インターネットオプション」をクリックします。



③「セキュリティ」タブをクリックします。

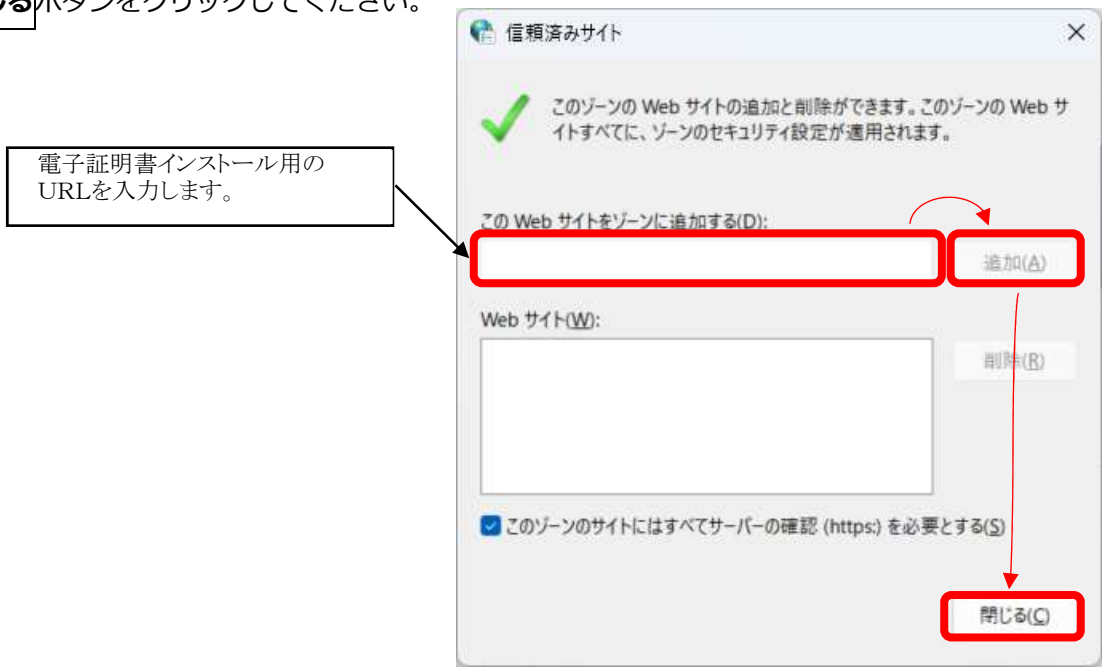


各受託金融機関のグループポリシー設定によっては、「セキュリティ設定」のボタンが表示されない場合があります。その場合は、各受託金融機関のシステム担当部課へお問い合せ下さい。

④「信頼済みサイト」を選択し、「サイト(S)」ボタンをクリックします。

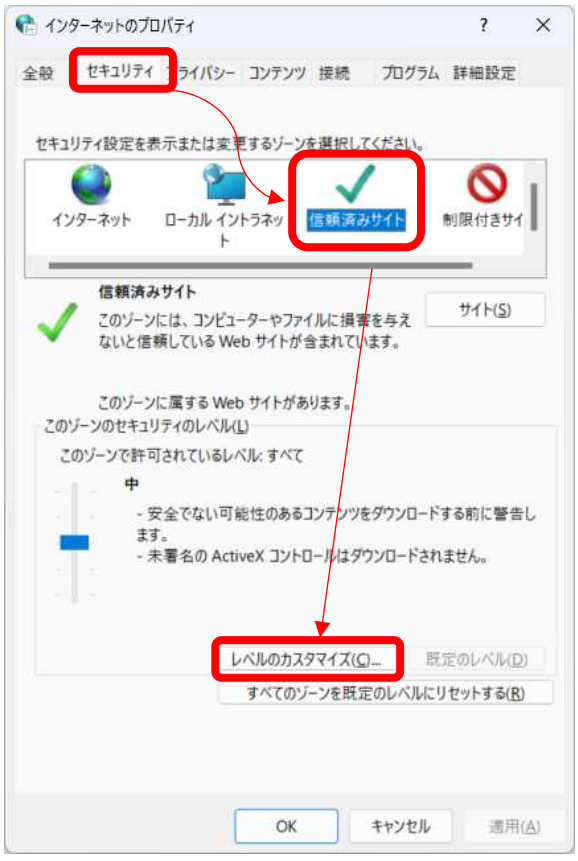


⑤『**この Web サイトをゾーンに追加する(D)**』に、P4 ①で入力したものと同じ接続先ＵＲＬ(電子証明書のインストール用)を入力してください。**追加**ボタンをクリック後、『**Web サイト**』に追加されたことを確認し、**閉じる**ボタンをクリックしてください。

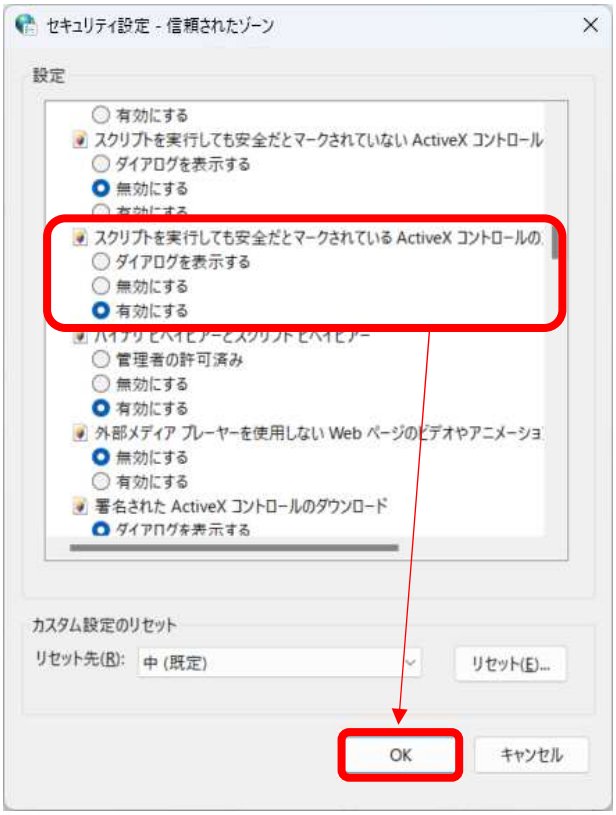


入力した URL の一部が省略されて「Web サイト」欄に表示される場合がありますが、問題ありません。

⑥「セキュリティ」タブ → 「信頼済みサイト」を選択し、レベルのカスタマイズボタンをクリックします。

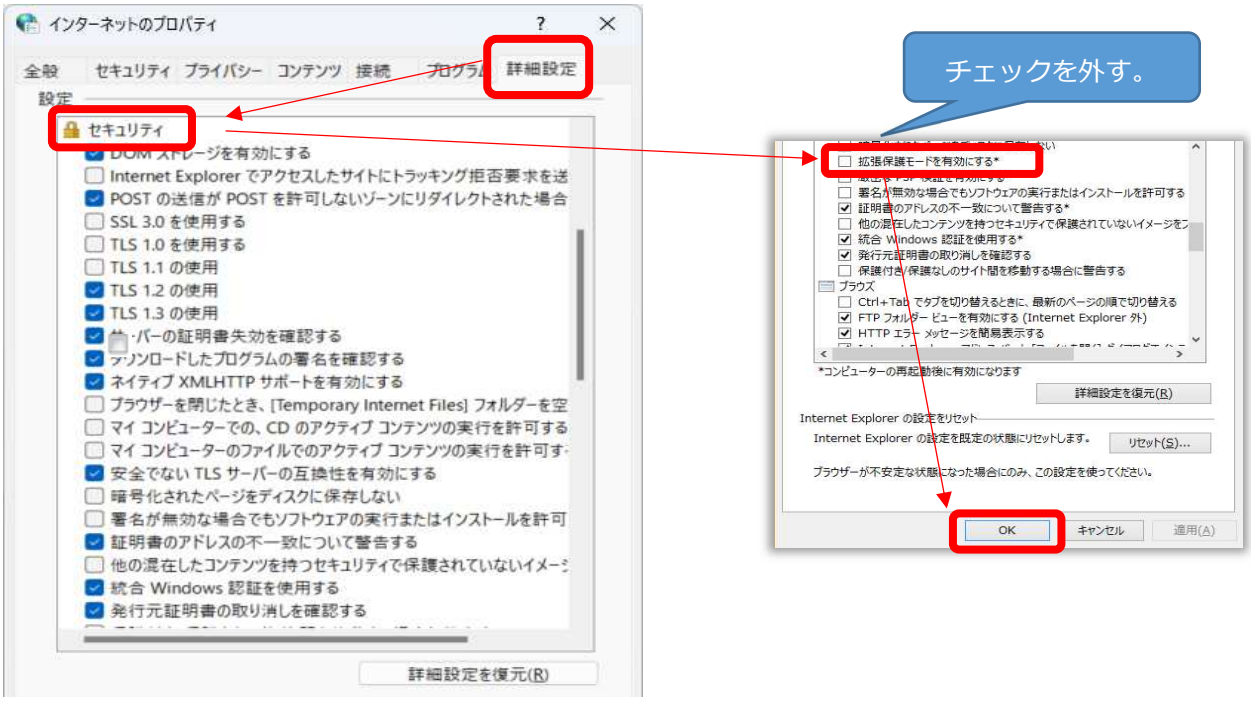


⑦**ActiveX コントロールとプラグイン** → **スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行** → **有効にする** を選択します。 **OK** ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



⑧**詳細設定タブ** → **セキュリティ** → **拡張保護モードを有効にする** →チェックを外します。

※「拡張保護モードを有効にする」という項目がない場合は、次へ進んでください。

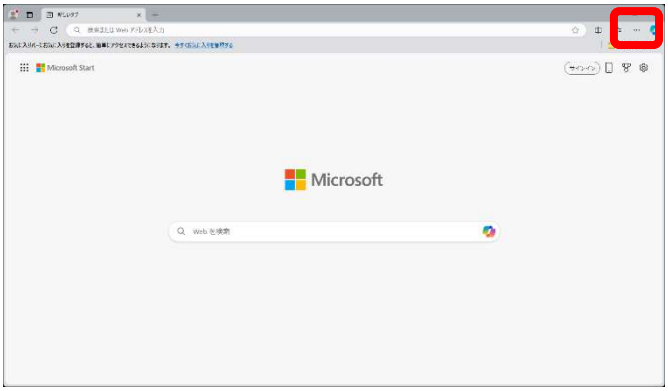


⑨コンピュータを再起動し、新たに起動した Web ブラウザで「２　電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

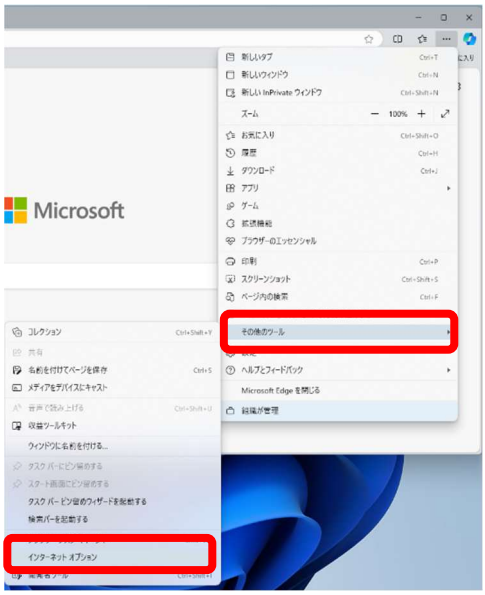
トラブルシューティング（２）　上記設定を行っても正常に操作出来ない場合

1 .ActiveX コントロールとプラグインの有効化

①Microsoft Edge を起動し、「…」をクリックします。



②「その他のツール」から「インターネットオプション」をクリックします。



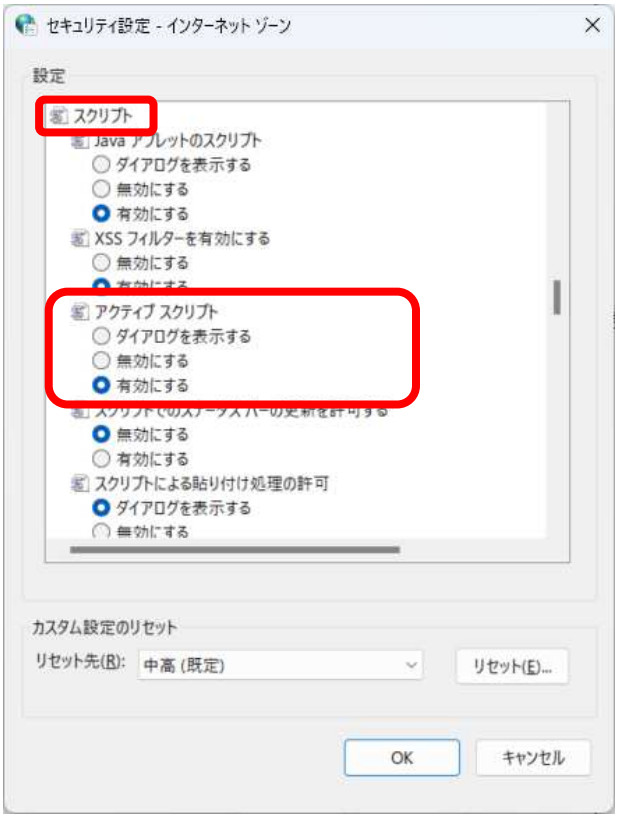
③「セキュリティ」タブをクリックします。



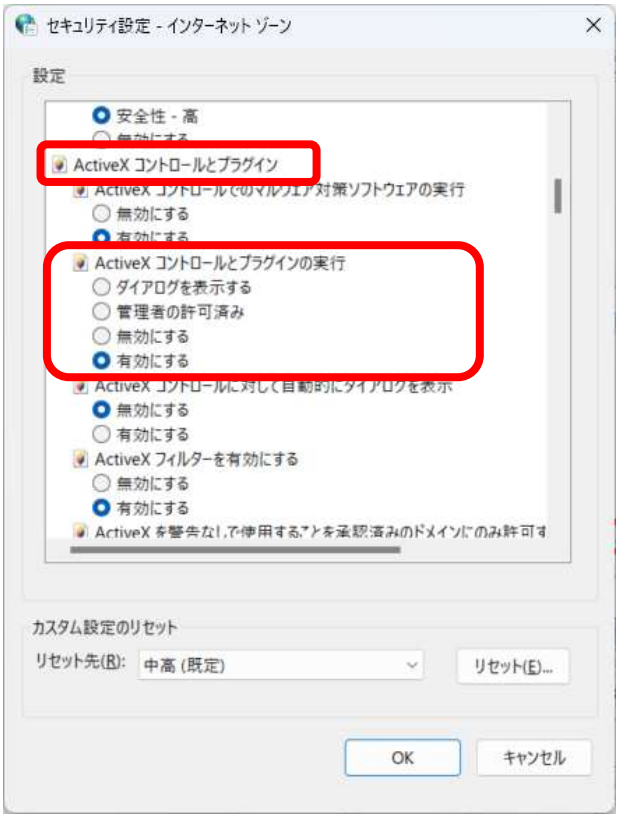
④「レベルのカスタマイズ(C)」ボタンをクリックします。



⑤「スクリプト」の「アクティブスクリプト」で、「有効にする」が選択されていることを確認します。
選択されていない場合は、「有効にする」を選択してください。



⑥[**ActiveX コントロールとプラグイン**] - [**ActiveX コントロールとプラグインの実行**] で、「**有効にする**」が選択されていることを確認します。
選択されていない場合は、「有効にする」を選択してください。



⑦Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「２　電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

2.セキュリティレベルの変更

①「セキュリティ」タブをクリックします。



②「セキュリティゾーン」を「低」へ一時的に変更します。

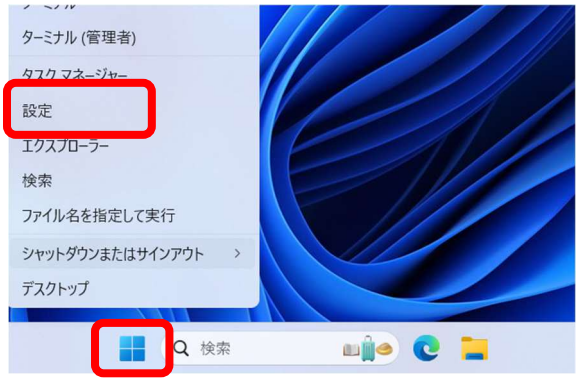


③Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「２　電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

各受託金融機関のグループポリシー設定によっては、「セキュリティ設定」のボタンが表示されない場合があります。その場合は、各受託金融機関のシステム担当部課へお問い合せ下さい。
「セキュリティゾーン」の変更は一時的な措置とし、電子証明書のインストール完了後は元の設定に戻すようにしてください。

5　ブラウザの設定

①デスクトップ下のスタートボタン → 設定 の順に
　クリックし、設定画面を開きます。



②「ネットワークとインターネット」をクリックします。

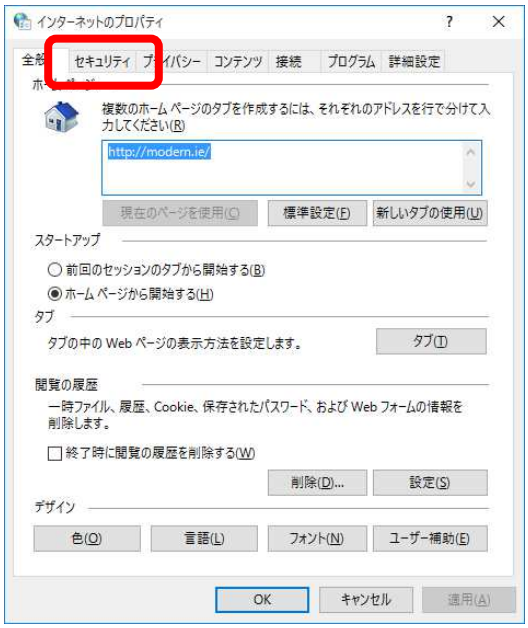


③「ネットワークの詳細設定」をクリックします。

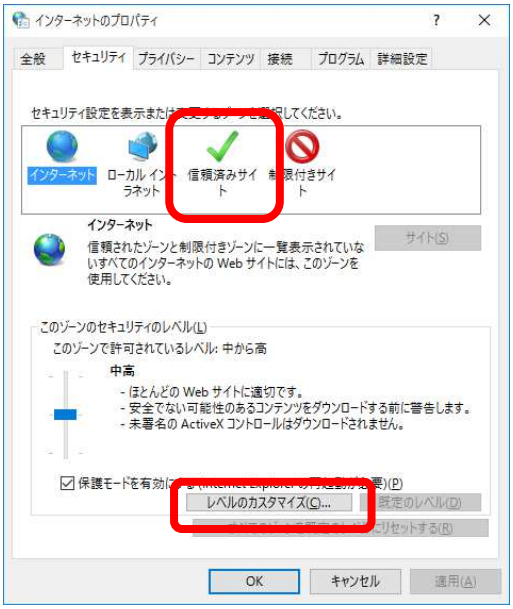
④関連設定の中の「インターネットオプション」を
　クリックします。



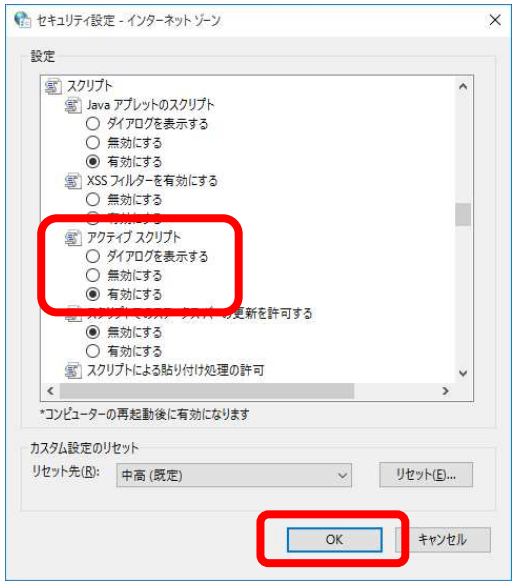
⑤「セキュリティ」タブをクリックします。



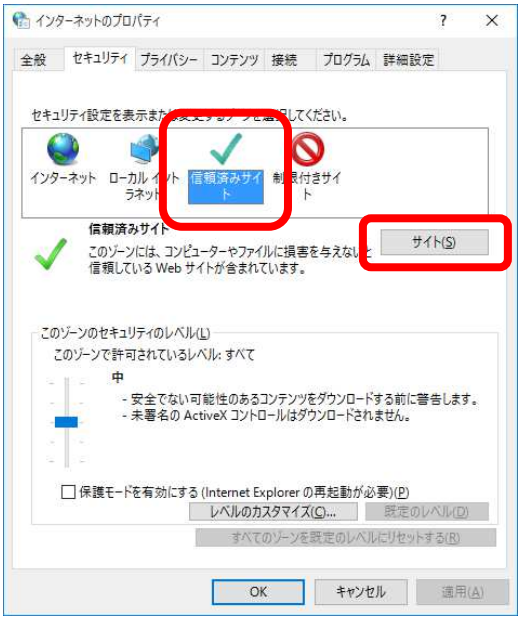
⑥「信頼済みサイト」を選択し、「レベルのカスタマイズ(C)」をクリックします。



⑦「アクティブスクリプト」の項目で、「有効にする」を選択し、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

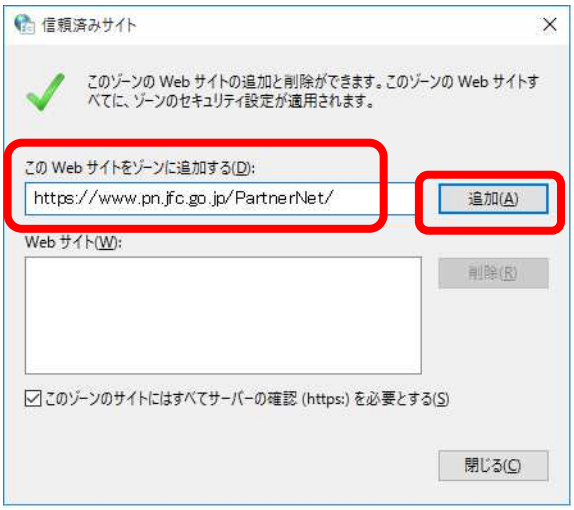


⑧「信頼済みサイト」を選択し、「サイト（S)」ボタンを
クリックします。

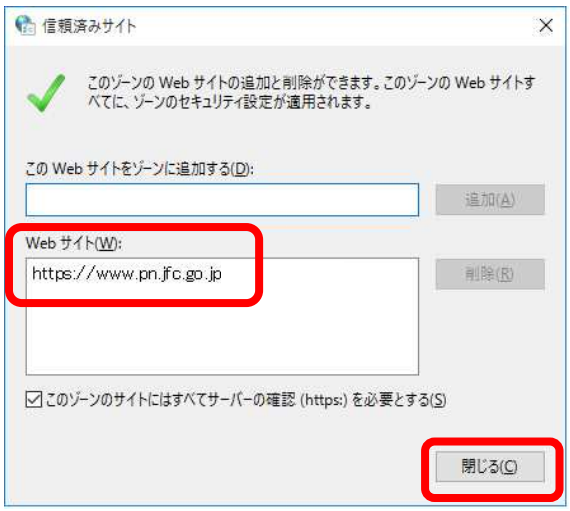


⑨「この Web サイトをゾーンに追加する(D)」に以下の
URL を入力し、「追加（A)」ボタンをクリックします。

https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/

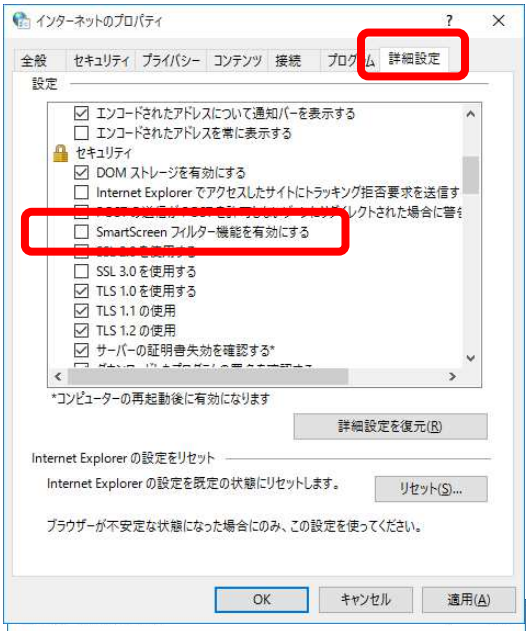


⑩「Web サイト(W)」に追加された URL を確認します。
確認が完了したら、「閉じる（C)」ボタンをクリックします。

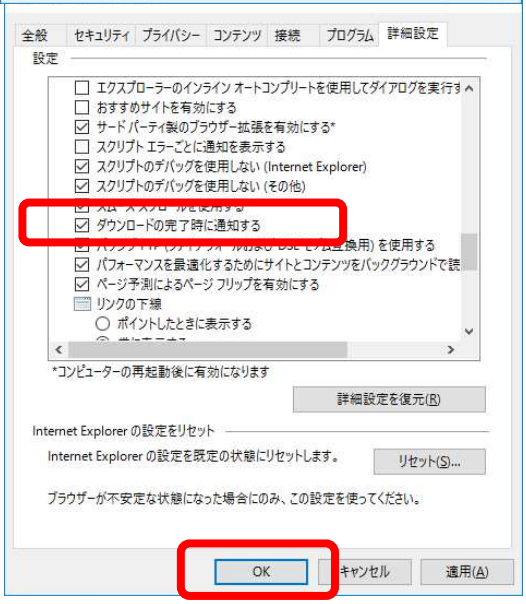


URL の一部が省略され、 https://www.pn.jfc.go.jp と表示される場合がありますが、問題ありません。

⑪「詳細設定」タブをクリックし、「SmartScreen フィルター機能を有効にする」のチェックを外します。



⑫「ダウンロードの完了時に通知する」にチェックを入れ、「ＯＫ」ボタンをクリックします。



⑬ウィンドウ右上の×ボタンをクリックして、いったん設定画面を閉じます。

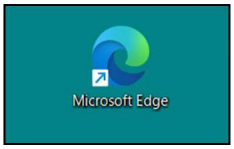


以上でブラウザの初期設定は終了しました。
続いて、パートナーネットの接続確認を行います。次ページの、「6 パートナーネットへの接続確認」へお進みください。

6　パートナーネットへの接続確認

(1)　ブラウザの立ち上げ(インターネットへの接続)

パソコンのブラウザを立ち上げ、インターネットに接続します。



接続方法は、それぞれ環境によって異なります。詳細についてはお使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。

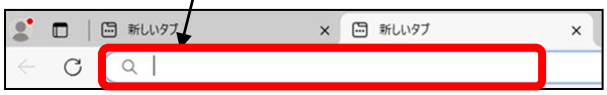
(2)　パートナーネットログオン画面への接続

以下のＵＲＬをブラウザのアドレス欄に入力し、

Enterキーを押下します。

URLを入力し，ログオン画面に接続します。

https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/



※お気に入りに登録しておくことによって、都度のアドレス入力が不要になります。登録方法については、本ガイド「9-2 お気に入りの登録」を参照してください。
なお、稀なケースですが、ご利用されているパソコンの設定により、登録したお気に入りからの接続が出来ない場合があります。この場合は、お手数ですが、上記ＵＲＬをブラウザのアドレス欄に入力してください。

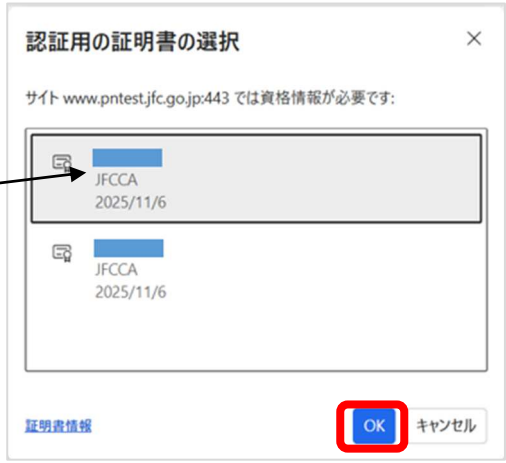
(3)　電子証明書の選択

電子証明書の選択画面が表示されますので、

証明書(金融機関ごとに名前は異なります）を選択し、

「OK」ボタンをクリックします。

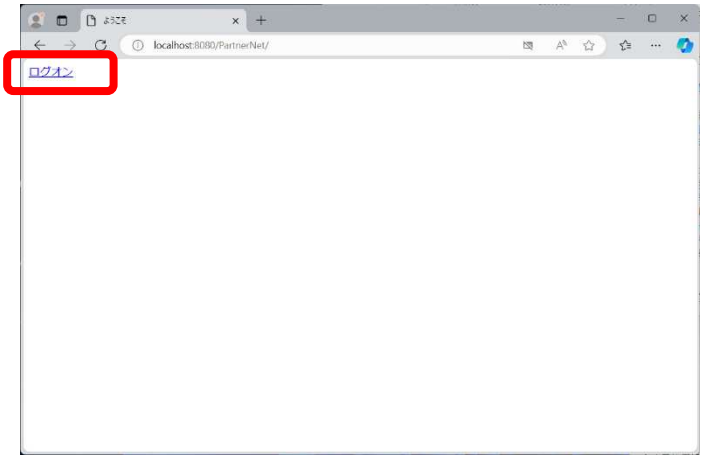
ユーザIDが表示された証明書を選択します。



※電子証明書の選択画面の表示を省略することができます。省略する方法については、本ガイドの「9-1 証明書選択を表示させないブラウザの設定」を参照してください。

(4)　ログオン画面の表示

ログオン画面（子画面）が表示されますので、
左上の「ログオン」リンクをクリックします。



ログオン画面（親画面）が表示されますので、
事前に郵送された「ユーザＩＤ」及び初期パスワード
を入力し、「ログオン」ボタンをクリックします。

受託金融機関の管理者が発行した「担当者 ID」の場合は
管理者から発行された ID を入力してください。



ログオン画面（親画面）を自動的に表示する場合は、本ガイド P36 の「9-3 ポップアップブロックを回避する方法」を参照してください。

ログオン画面（子画面）は、右上の×ボタンで閉じても問題ありませんので、必要に応じて閉じてください。

(5)　パスワード変更画面の表示

初回ログオン時にパスワード変更画面が表示されます。

①　パスワード変更画面の表示

「古いパスワード」の欄に「**公庫よりお知らせした初期パスワード**」を入力します。

「新しいパスワード」及び「パスワードの確認」の欄に、「**新規パスワード（８文字以上の英数字及び記号）**」を入力し、「更新」ボタンをクリックします。



パスワードには、以下の文字種が使用できます。

アルファベット大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
アルファベット小文字	a b c d e f g h I j k l m n o p q r s t u v w x y z
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号	! $ % & ' ( ) * + , / ; < = > ? [ ] ^ { } ~

パスワードを変更してから 90 日を経過後にログオンした時も、パスワード変更画面が表示されます。その場合は、「古いパスワード」の欄には「現行パスワード」を入力してください。

② 接続の確認

次のいずれかの画面が表示されましたら、接続完了です。

（公庫営業日の9:00~17:00に接続した場合）



（上記以外の時間帯に接続した場合）



7　ログアウト及びブラウザの終了

(1)　ログアウトする

画面左上に表示されている「ログアウト」ボタンをクリックします。



(2)　セッション終了画面の表示

「セッションを終了しました」と表示のある画面が表示されましたらログアウト完了です。もう一度ログオンしたい場合は、「ここをクリック」をクリックするとログオン画面（親画面）に移動します。



(3)　ブラウザの終了

画面のウィンドウ右上の×ボタンをクリックして、ブラウザを終了してください。



ログオン画面（子画面）が残っている場合は、同様に×ボタンをクリックして、ブラウザを終了してください。



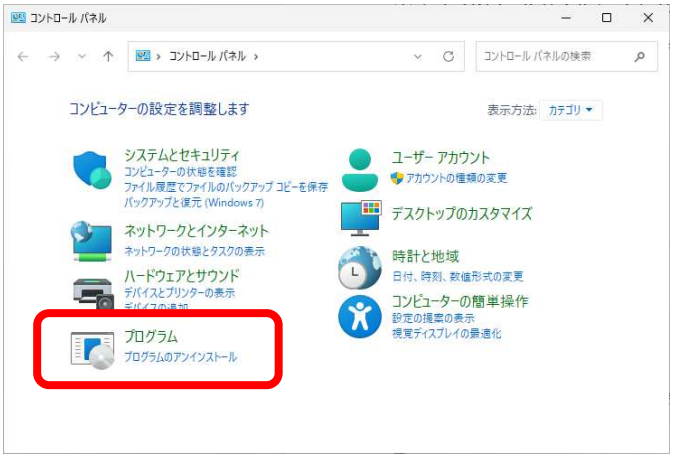
8　（参考）旧ソフトウェアの削除

ご利用のパソコンに、パートナーネットの旧ソフトウェア（2011年7月以前の旧接続形式を使用していたソフトウェア）が残存している場合は、以下の手順で削除することができます。

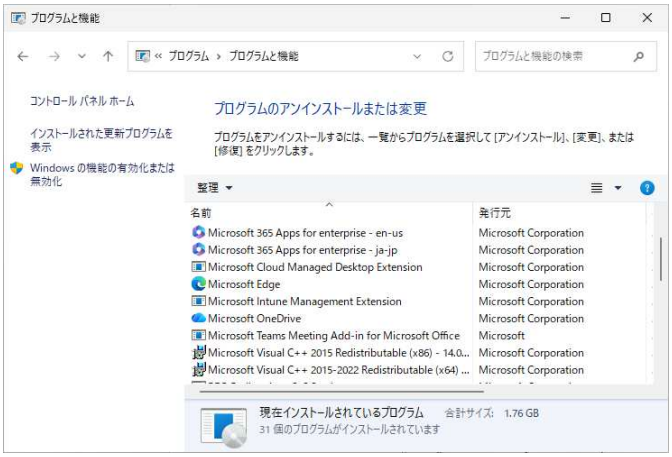
(1)　プログラムの削除

旧システム用のプログラムを削除します。

①　「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に開きます。



②　プログラムのアンインストールまたは変更画面が開きます。



③以下の順でプログラムを削除してください。

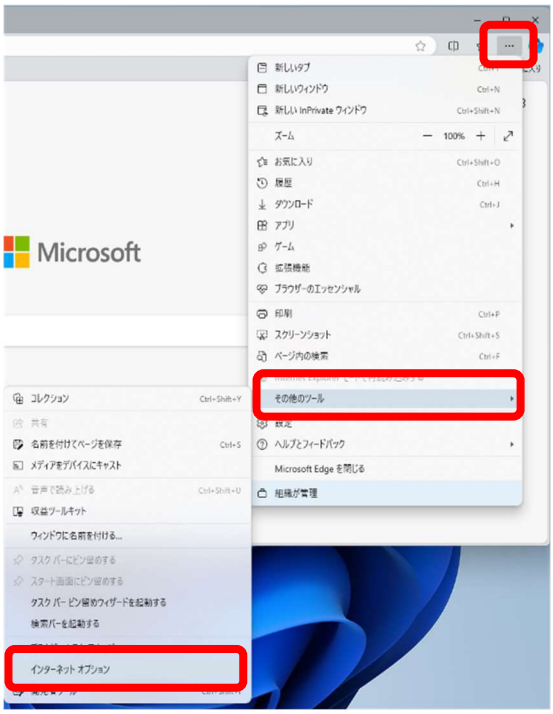
1. MSOLOCK PRO
2. Rainbow iKey Components
3. Rainbow iKey Driver
4. 電子署名検証ツール Sign Verifier
5. Juniper Networks Host Checker
6. Juniper Networks Network Connect
7. Installer Service

(2)　電子証明書の削除

続いて、旧システム用の電子証明書を削除します。

- **一度削除した電子証明書は元に戻せませんのでご注意ください。**
- **旧システムの電子証明書をクライアント PC にインストールしていない場合、この作業は不要です。**

①Web ブラウザ（Microsoft Edge）の右上にある「…」をクリックし、「その他のツール」から「インターネットオプション」をクリックします。

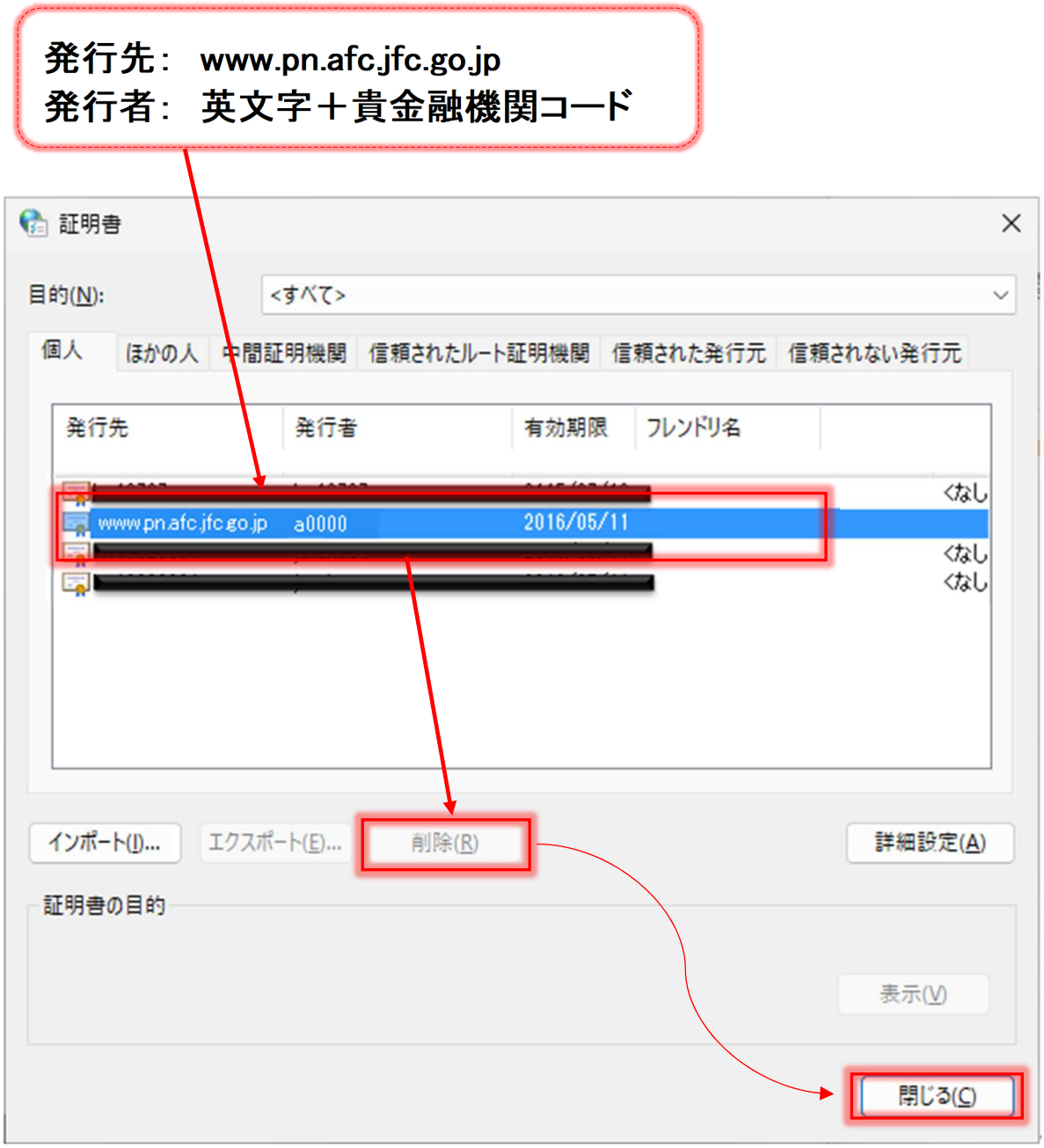


③　〔コンテンツ〕タブを選択し、証明書ボタンをクリックします。



③旧パートナーネットシステムで利用していた電子証明書を選択し、「削除（R)」ボタンをクリックしてください。その後、「閉じる（C)」ボタンをクリックしてください。

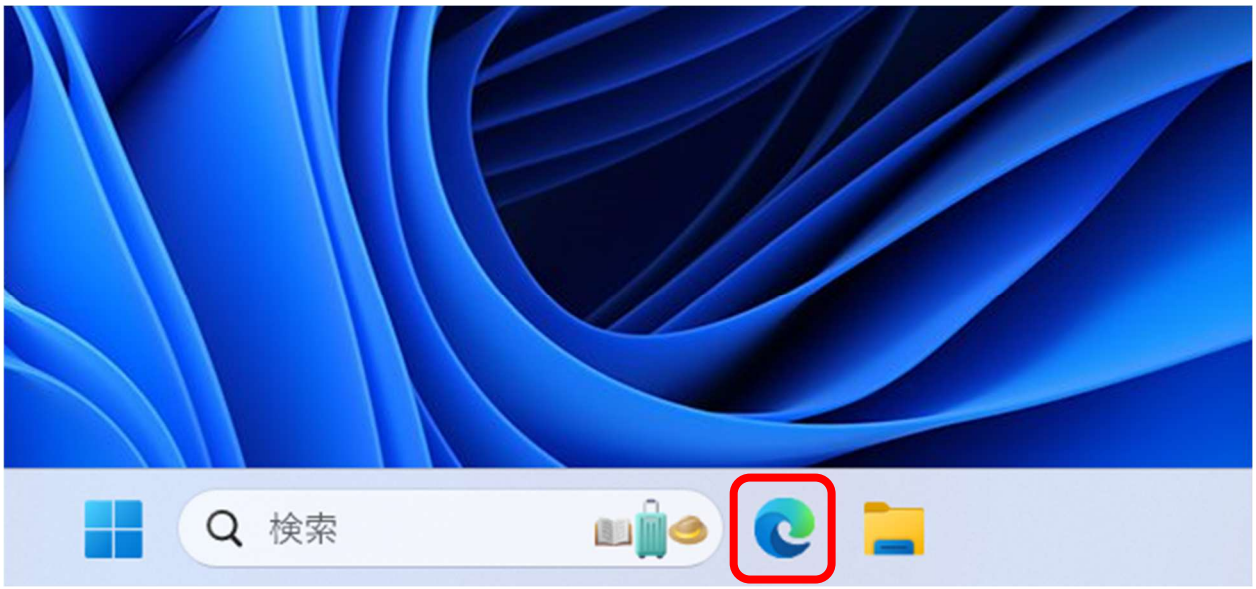
パートナーネットシステムを利用しているパソコンに、共同利用している他金融機関等の電子証明書がインストールされている場合は、誤ってそれらを選択・削除することのないよう「発行先」「発行者」をよくご確認ください。



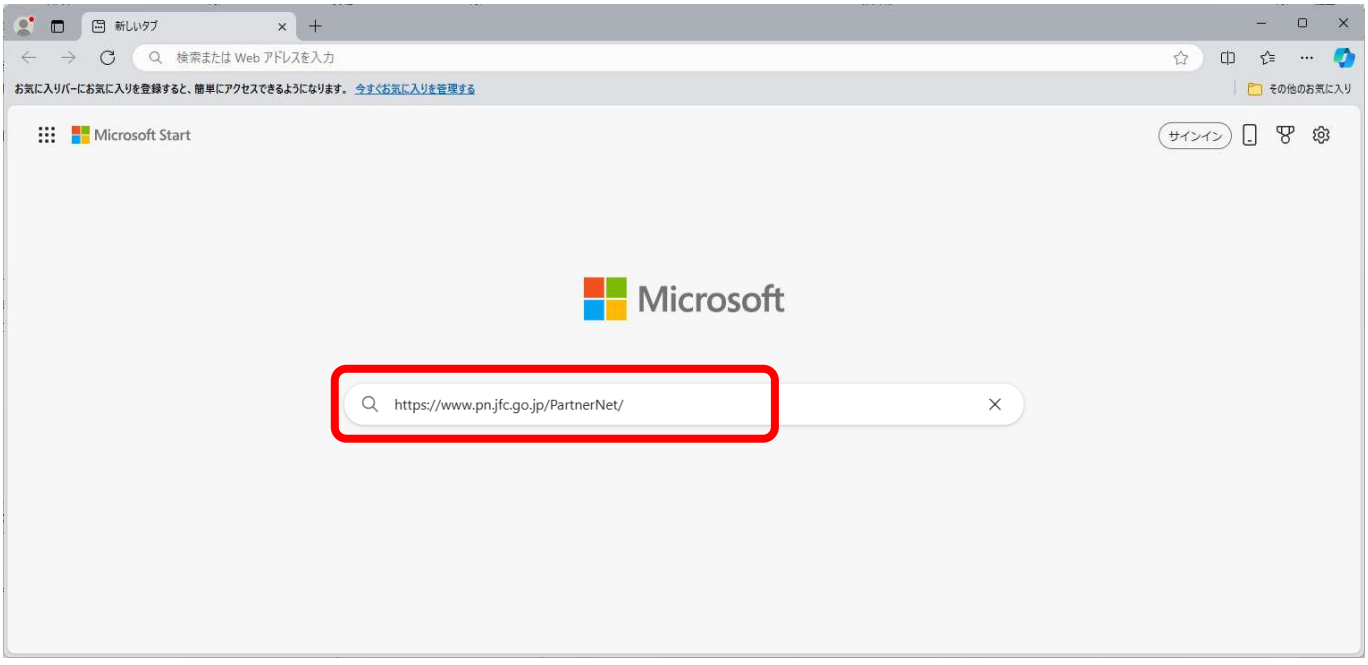
9　添付資料

9－1　証明書選択を表示させないブラウザの設定

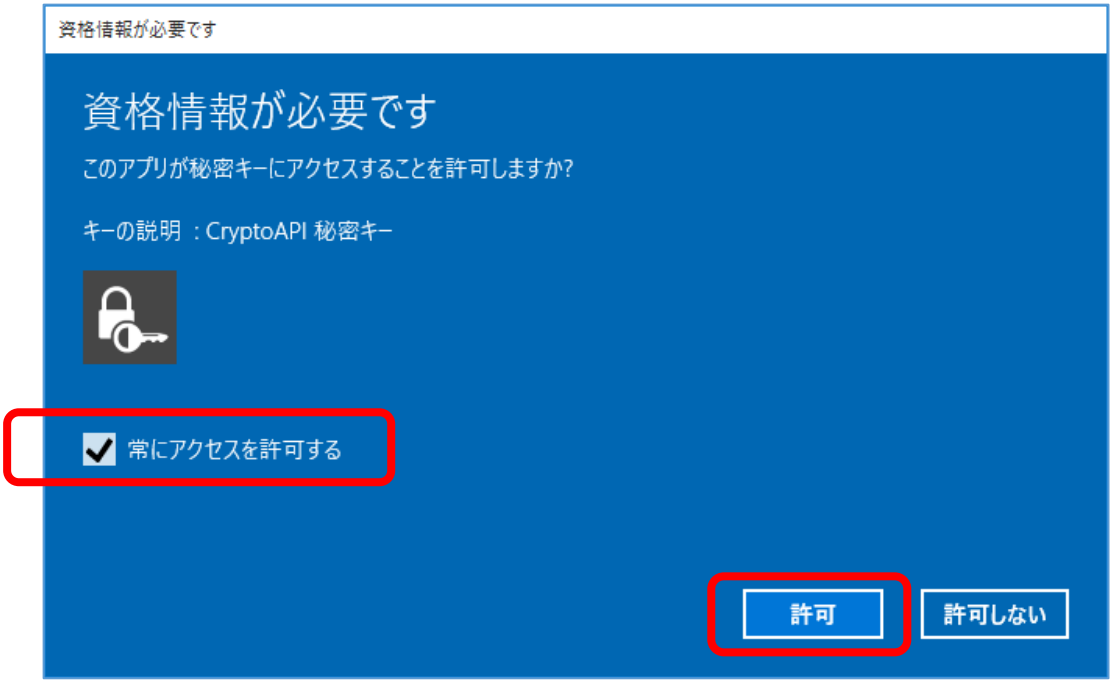
①デスクトップから Microsoft Edge を選択し、起動します。



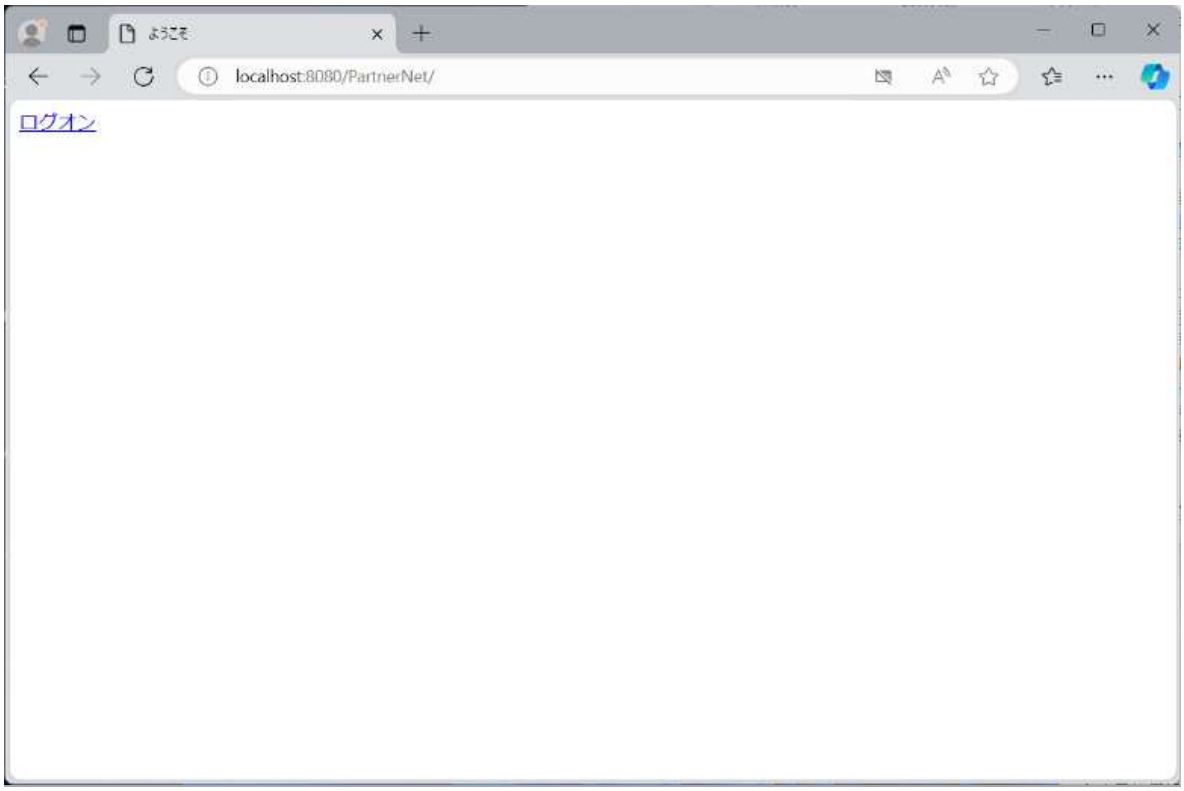
②開始画面から「**https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/**」を入力し、Enter をクリックしてください。



③「常にアクセスを許可する」にチェックを付け、「許可」をクリックします。

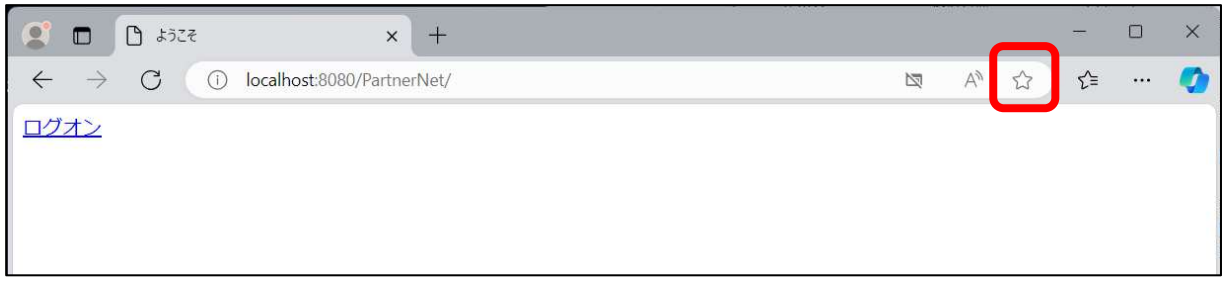


④パートナーネットのログオン画面（子画面）が表示されましたら、設定完了です。

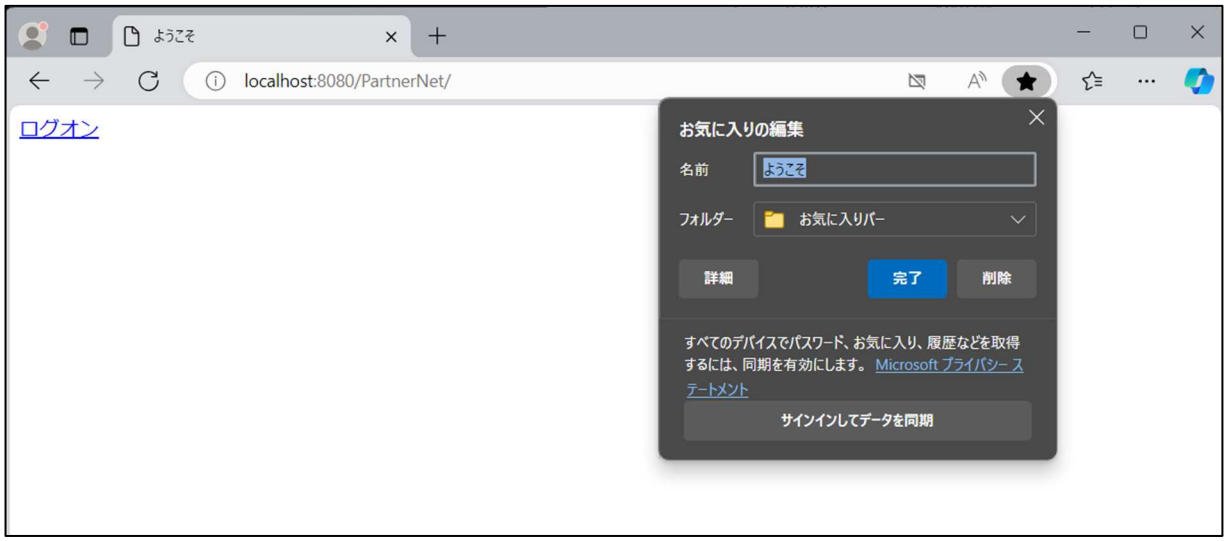


9－2　お気に入りの登録

①パートナーネットのログオン画面（子画面）が表示されている状態で、アドレス欄右の「☆」（星型）のボタンをクリックします。



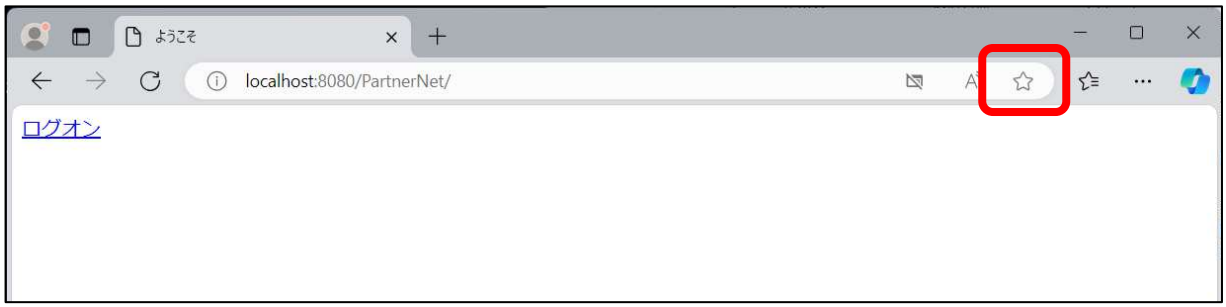
②「名前」欄に「ようこそ」が表示されていることを確認します。



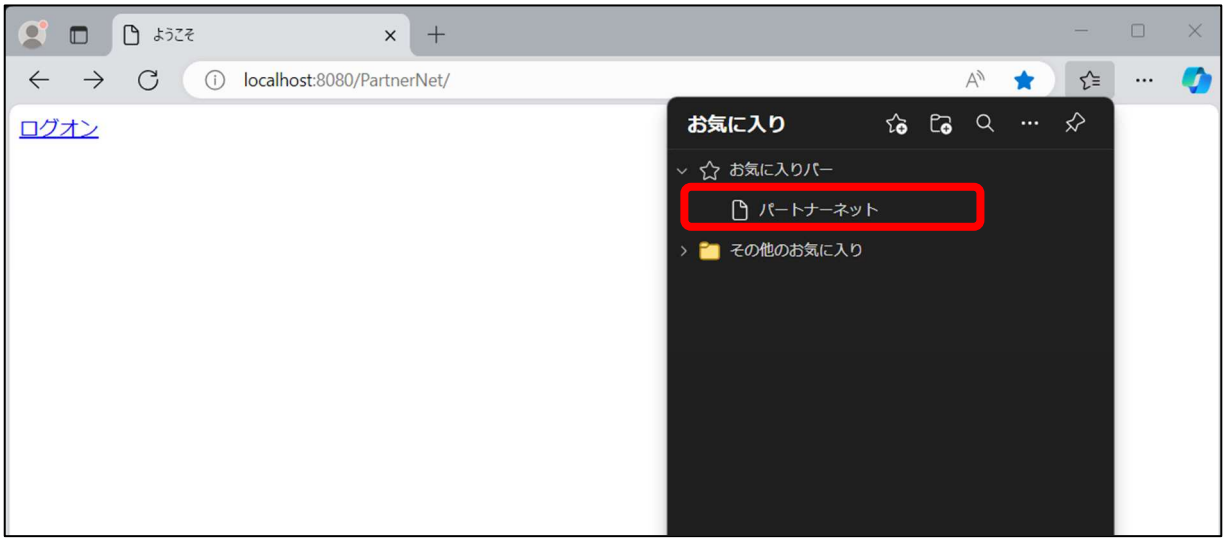
③「名前」欄を任意の名称（下図の例では「パートナーネット」）に変更し、「完了」ボタンをクリックします。



④「☆」（星型）に 3 本の横棒が付いたボタンをクリックします。



⑤「お気に入り」リストが表示されるので、③で入力した名称がお気に入りに登録されたことを確認します。

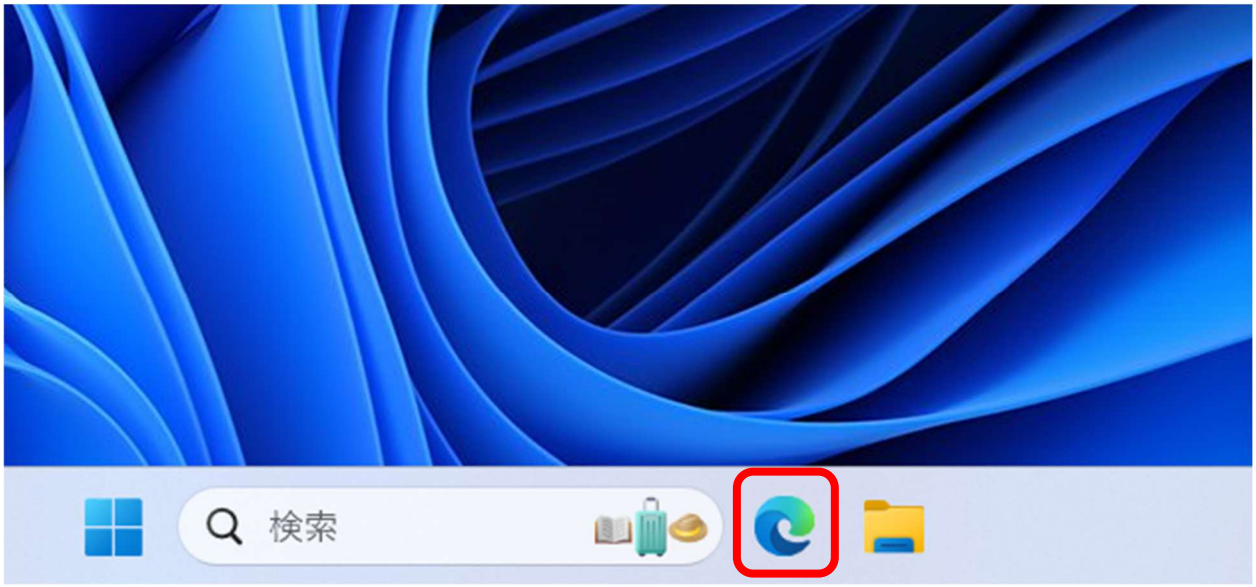


9－3　ポップアップブロックを回避する方法

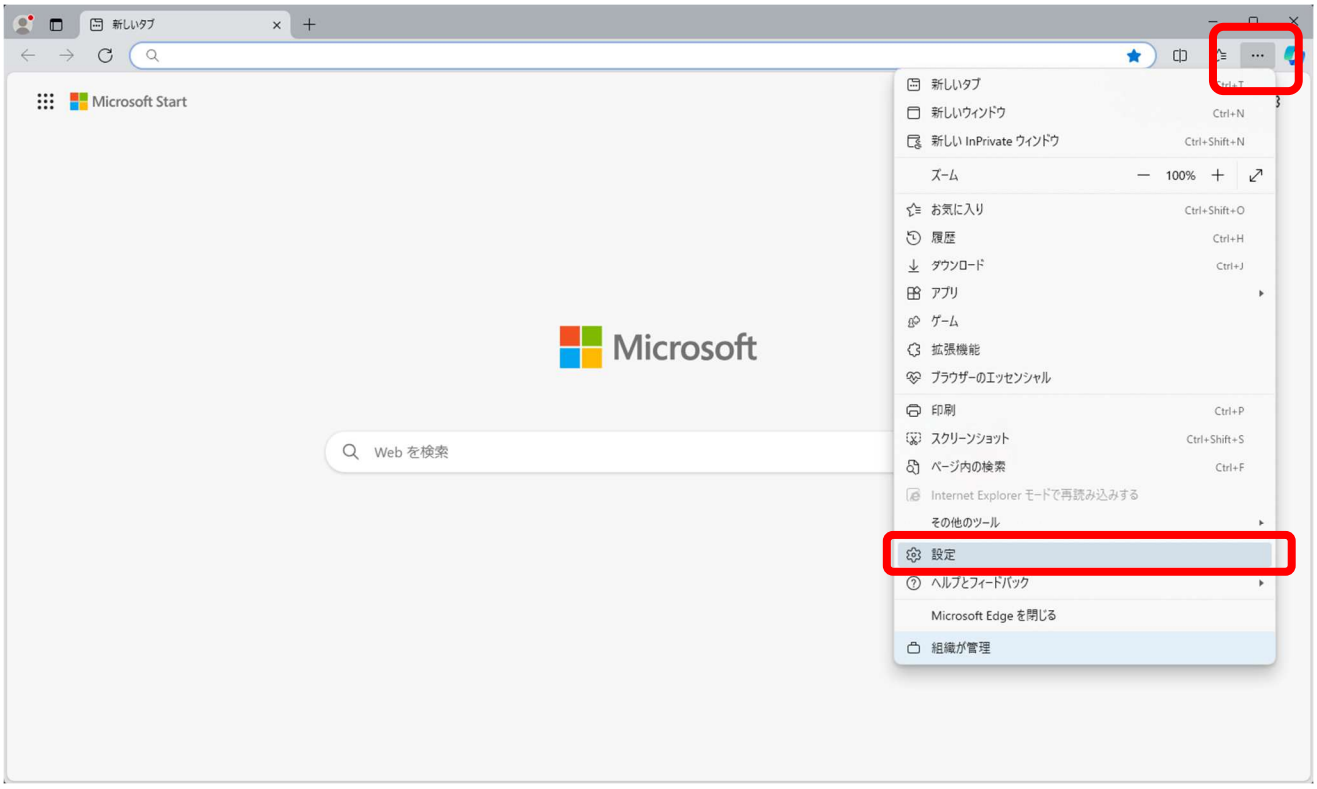
Microsoft Edge には、Web サイトにアクセスした際に、通常のウィンドウとは別に勝手に開かれる広告やお知らせなどの小さなウィンドウを表示しないようにする、「ポップアップブロック」という機能がありますが、この機能が有効になっていると、パートナーネットが作成するウィンドウまで表示されなくなる場合があります。

ここでは、パートナーネットをポップアップブロックの対象から除外する方法を説明します。

①デスクトップから Microsoft Edge を選択し、起動します。



③　右上の「…」をクリックすると、メニューが表示されますので「設定」をクリックします。



④　「プライバシー/検索/サービス」をクリックします。



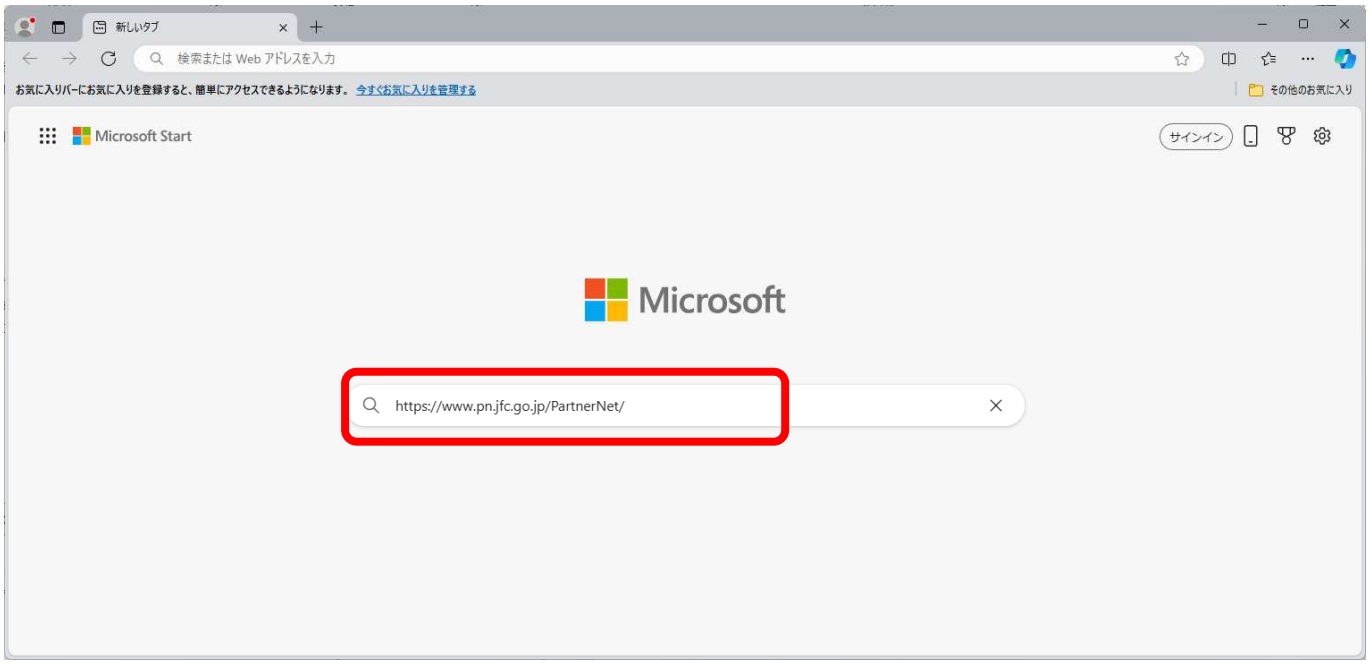
⑤　「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



⑥　「ブロック済み(推奨)」を「オフ」にします。



⑥開始画面から「**https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/**」を入力し、Enter をクリックしてください。



⑦資格情報を要求する画面が表示されましたら、「許可」をクリックしてください。



⑧ログオン画面（子画面）が表示された後、自動的にログオン画面（親画面）が表示されることを確認してください。



9－4　Microsoft Edge の Chromium 版の IE モード設定

①以下のサイトから Microsoft Edge の Chromium 版をダウンロードします。（※）

■ダウンロードサイト

https://support.microsoft.com/ja-jp/microsoft-edge/chromium-%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%81%AE%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84-microsoft-edge-%E3%82%92%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%99%E3%82%8B-0f4a3dd7-55df-60f5-739f-00010dba52cf

（※）使用するパソコンに搭載済の場合、本操作は不要です。

②　Microsoft Edge を起動し、[設定]>[既定のブラウザー]>[Internet Explorer の互換性]に進みます。



③　[Internet Explorer モード]でサイトの再読み込み許可を「既定」または「許可しない」から「許可」に変更します。既に「許可」設定になっている場合は作業不要です。

④ [Internet Explorer モードページ]の「ページを追加」を押下、公庫から通知された接続先 URL（ユーザＩＤ及び初期パスワードを郵送した際の通知）のうち、電子証明書インストール用のＵＲＬ（※）をページに追加します。「再起動」ボタンが表示される場合は、再起動を実施します。ブラウザを閉じただけでは反映されません。



※2025 年 7 月以前に通知された接続先 URL の場合、末尾「certsrv/」を除いた URL を入力してください。

⑤ Microsoft Edge の IE モード設定は以上で完了です。P4「３電子証明書のインストール」から設定作業を始めてください。

⑥ 電子証明書のインストール作業が完了したら、インストール用に設定した IE モードを元に戻します。
[Internet Explorer モードページ]に入力した URL を「削除」アイコンを押下して削除してください。



⑦ 上記③で「許可」とした設定を変更前の「既定」または「許可しない」の設定に戻します。当初から「許可」設定になっていた場合は、この作業は不要です。「再起動」ボタンが表示される場合は、再起動を実施してください。ブラウザを閉じただけでは反映されません。



各受託金融機関のグループポリシー設定によっては、「既定のブラウザ」ボタンが表示されない、または「Internet Explorer の互換性」の設定がグレーアウトにより変更が出来ない場合があります。この場合は、各受託金融機関のシステム担当部課へお問い合せ下さい。